負担金検証調書【平成28年度交付分】

1　負担金の予算決算等について

負担金の名称	名古屋観光プロモーション実行委員会負担金		市の担当部課	観光交流課			問い合わせ先	0568-44-0342
負担金の金額	予算額	600,000　円	当初交付額	600,000　円	決算額	600,000　円	前年度決算額	―　円

2　負担金の交付先について

交付先の状況	名称	名古屋観光プロモーション実行委員会	（法人格の有無）	無	代表者	近藤　善紀	所在	名古屋市
	構成団体	名古屋市、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー、犬山市						
	設置の根拠	名古屋観光プロモーション実行委員会規約						
	意思決定の方法	重要案件については名古屋観光プロモーション実行委員会にて決定する。						
事務局の体制等	所在	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー観光部国内観光グループ内			代表者	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー観光部長		
	事業資金の管理責任者	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー観光部長			事業資金の管理者	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー観光部国内観光グループ内職員		
	契約、支出決裁の方法	（事務局が市である場合）市のルールに準じているか？		完全準拠でない場合の内容等				
		（事務局が市でない場合）具体的に記述	※名古屋市に準拠				証拠書類の有無	有
	事業資金等の保管方法	（公財）名古屋観光コンベンションビューローにて金融機関に預け入れ						

3　負担金の対象となる事業等について

事業内容（事業の全体像）	観光プロモーション事業。名古屋市近隣の地方公共団体等との連携協力。
（犬山市の役割）	名古屋市が展開する広範囲的な観光プロモーション事業等に、犬山市も協力していく形で、会員となっている。
事業実績（具体的な手法）	札幌プロモーションとしてイオン札幌発寒店、浜松プロモーションとしてイオンモール浜松市野店にて観光PRを実施。
負担金を交付して市が得たメリット	広域観光宣伝により、観光客誘致が図られる。

4　負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額（当初支出額）	600,000　円	精算の有無	無	精算（返還）額	0　円	精算後の負担金の額	600,000　円
負担金の対象となる全体事業費（精算がある場合は精算前の額）		収入額	12,600,000　円	支出額	12,599,967　円	余剰額	33　円
構成員の負担割合（根拠）	名古屋12,500千円、犬山市600千円（実行委員会で決定）						
余剰額が発生した場合の取扱い	精算　千円未満は繰越					繰越額	33　円
交付先における収入の状況（精算前の額）							

交付先における支出の状況	項目	予算（当初支出時の想定）		決算（実績）		
		積算等	金額	積算等	金額	契約の方法、相手方等
	イベント経費	物産展使賃料、委託料等	10,051,000　円	物産展使賃料、委託料等	10,356,451　円	随意契約 株式会社三晃社
	旅費	札幌、浜松ほか	2,249,000　円	札幌、浜松ほか	1,946,980　円	
	事務費	振込手数料、クリーニング代等	300,000　円	振込手数料、クリーニング代等	296,536　円	
	合計		12,600,000　円		12,599,967　円	
	積算がない場合の特記事項					